

JICA 海外協力隊発足 60 周年 記念ロゴの決定

2025 年 1 月 6 日
JICA 青年海外協力隊事務局

2025 年は JICA 海外協力隊発足 60 周年であり、「世界と日本を変える力」をテーマに 1 年かけて周年事業を実施いたします。そのシンボルともなる 60 周年記念ロゴが以下のとおり決まりました。



ロゴの制作者は 山根文子さん です。

美術、デザイン、服飾といった職種で派遣された帰国隊員や現役隊員からロゴの応募を募り、JICA 内での投票で山根さんの作品が選ばれました。

【制作者ご紹介】

デザイナーとしての広告業界での経験を活かすると JICA 海外協力隊に興味を持たれ、2016 年にアルゼンチン、2019 年にはザンビアでそれぞれデザインの職種で短期隊員として活動、2020 年にはマーシャルで 1 年の予定で活動していましたがコロナのために 3 か月足らずで帰国されました。



山根文子さん

今回の受賞の知らせを受け、山根さんからは「マーシャルでは1年活動する予定だったので、今までよりも計画的に進められると楽しみにしていたのですが、コロナのため3か月足らずで帰国となりました。意気込みが強かった分、この数年は消化不良のまま過ごしてきましたが今回ロゴ制作に参加させていただき、ボランティア経験を少し還元できたのかなと嬉しく思っています」とコメント頂いています。

【作品介绍】

作品名：「日本と開発途上国をむすぶ架け橋」

開発途上国発展のための JICA 海外協力隊の多種多様性を虹色の架け橋として表現し、日本と途上国との協力関係を表現されています。



2019 年 ザンビアで実施したワークショップ時の写真